

貸 借 対 照 表

2016年12月31日現在

(単位：円)

科目名	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	7,181,831
現金	8,174
当座預金	0
津山信用金庫本店	0
普通預金	7,173,657
中国銀行津山支店	3,469,475
鳥取銀行津山支店	1,191,686
津山信用金庫本店	2,512,496
定期預金	0
津山信用金庫本店	0
立替金	446,878
未収入金	22,477
事業仮払金	91,988
貯蔵品	6,700
流動資産合計	7,749,874
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金	117,500
固定資産合計	117,500
資産合計	7,867,374
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	228,597
預り金	0
源泉税預り金	
その他預り金	0
前受金	1,290,000
流動負債合計	1,518,597
2. 固定負債	
	0
	0
固定負債合計	0
負債合計	1,518,597
III 正味財産の部	
一般正味財産	6,348,777
正味財産合計	6,348,777
負債および正味財産合計	7,867,374

正味財産増減計算書

2016年1月1日から2016年12月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取入会金	250,000
受取入会金	250,000
受取会費	8,662,500
正会員受取会費	8,662,500
事業収益	3,614,740
登録料収益	3,569,740
業務委託収入	0
雑収入	45,000
受取補助金等	0
受取国庫補助金	0
受取地方公共団体補助金	0
受取民間補助金	0
受取寄附金	226,000
受取寄附金	226,000
募集収益	0
雑収益	525,823
受取利息	687
その他雑収入	25,136
津山市民憲章受託費	264,000
OB会通信費	236,000
経常収益計	13,279,063
(2) 経常費用	
事業費	6,747,825
会場設営費支出	424,296
人件費支出	20,000
会場費支出	294,780
設営費支出	109,516
企画・演出費支出	1,121,493
演出費支出	1,121,493
本部関係費支出	936,000
設営費支出	936,000
渉外費支出	0
講師関係費支出	19,440
記念品代支出	19,440
資料作成費支出	59,736
作成費支出	59,736
保険料支出	161,058
雑費支出	18,584
委員会運営費支出	4,007,218

(単位:円)

科 目	金 額
管理費	6,181,174
会議費	534,140
役員報酬	0
給料手当	2,224,438
退職給付費用	0
福利厚生費	0
旅費交通費	0
通信・発送費	245,924
消耗品費支出	788,910
リース料支出	114,660
印刷製本費支出	
光熱水料費支出	126,502
賃貸料支出	454,680
業務委託費支出	32,400
インフォメーション関係費支出	0
渉外費支出	607,000
雑支出	92,420
負担金支出	960,100
JSI負担金支出	79,750
日本JC負担金支出	335,000
地区協議会負担金支出	29,000
ブロック協議会負担金支出	116,000
国際協力資金支出	105,850
日本JC出向者負担金支出	140,000
We Believe購読料支出	154,500
経常費用計	12,928,999
当期経常増減額	
2. 経常外増減の部	0
(1) 経常外収益	0
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	350,064
一般正味財産期首残高	5,998,713
一般正味財産期末残高	6,348,777
Ⅱ 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
Ⅲ 正味財産期末残高	6,348,777

財 産 目 録

2016年12月31日まで

(単位：円)

科目名	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	7,181,831
現金	現金手許有高
	8,174
普通預金	7,173,657
中国銀行津山支店	口座番号1281389
	3,469,475
鳥取銀行津山市店	口座番号 67038
	1,191,686
津山信用金庫本店	口座番号0659314
	2,512,496
立替金	446,878
未収入金	社会保険料調整分等
	22,477
事業仮払金	次年度会議費等
	91,988
貯蔵品	6,700
流動資産合計	7,749,874
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金	津山森林組合出資金235口
	117,500
固定資産合計	117,500
資産合計	7,867,374
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	事務局員給料、交通費、社会保険料
	228,597
預り金	源泉所得税他
	1,290,000
前受金	
	1,290,000
流動負債合計	1,518,597
2. 固定負債	
固定負債合計	
III 正味財産の部	
一般正味財産	6,348,777
正味財産合計	6,348,777
負債及び正味財産合計	7,867,374

物 品 管 理 会 計

資産の部	摘 要	金 額
	1. 受信用電話機セット	10,000
	2. 書庫 1. ファイリングキャビネット	19,550
	2. 事務用ロッカー	真庭JC15周年記念品
	3. 会議用ロッカー	20,000
	4. 書庫(大・上下)	24,000
	5. 書庫(大・上下)	44,000
	6. 書類収納用ロッカー(階下)	15,500
	3. 例会用パネル 3枚(含新マーク)	70,000
	4. 例会用演題	15,000
	5. 特別会員ネームプレート	44,000
	6. 私書箱	21,500
	7. 事務机2台 椅子1脚	23,250
	8. 事務机	3,500
	10. 裁断機	2,800
	11. JC旗用三脚	7,200
	12. 手提げ金庫	4,160
	13. 絵画	OB会より25周年記念品
	14. テント 4張り	1982・83・85年度卒業生記念品
	15. 書庫	美作JC15周年記念品
	16. ホワイトボード	美作JC15周年記念品
	17. ロッカー上置戸棚 1set	92,700
	18. 会議用テーブル(1)、椅子(4)	1990年度卒業記念品
	19. レターケース	20,720
	20. テレホンスタンド	15,750
	21. 留守番電話機	37,080
	22. ADSLモデム一式	30,000
	23. 例会用看板・城下町宣言タペストリー	60,000
	24. 無線LAN BBルーター	7,980
	25. シュレッダー	2005年度卒業記念品
	26. 特別会員ネームプレート	2005年度卒業記念品
	27. JCIマーク入りLOM旗 一式	2006年度卒業記念品
	28. JCIマーク入り法被一式	2005・2006年度卒業記念品
	29. 会議用長パイプ椅子 6脚	20,317
	30. LOM会計ソフト(バランスマン)	68,000
	31. リソグラフ印刷機 RZ570 1台	283,500
	32. 会議用長テーブル 3台	2007年度卒業記念品
	33. フロンティアPC・周辺機器一式	2007・2008年度卒業記念品
	34. PC用外付ハードディスク	2009年度卒業記念品
	35. プロジェクター用スクリーン	2009年度卒業記念品
	36. キヤノンレーザープリンターLBP3310	2010年度卒業記念品
	37. テント 1張り	2011年度卒業記念品
	38. 書庫 4台	2012年度卒業記念品
	39. プロジェクター	2013年度卒業記念品
	40. YAMAHA STAGEPAS 400i	2014年度卒業記念品
	41. 国旗 1式	2015年度卒業記念品
	42. プレジデントリーフ	2016年度卒業記念品
	43. JCI革製フォルダ 5	2016年度卒業記念品
	44. テント 1張り	2016年度卒業記念品
物品管理会計の資産取得額の合計		960,507

一般社団法人 津山青年会議所

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

監査報告書

一般社団法人 津山青年会議所

2016年度理事長

菅田 拓平 殿

2017年1月11日

一般社団法人津山青年会議所

監事 長谷川 毅 

監事 脇 優太 

私たちは、2016年1月1日から2016年12月31日までの会計年度における会計及び監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

(1) 会計監査について

帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査について

理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査報告

- (1) 貸借対照表・収支計算書・正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び、財産状態を正しく表示しているものと認められる。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。

3. 監事講評

2016年度は、菅田理事長のもと三感四恩 ～一体感をもち、未来へ向かって力強く行動しよう！～をスローガンに掲げて事業を展開されました。菅田理事長の素晴らしいリーダーシップのもとこの地域を元気にする多くの事業を市民、行政、各団体と共に開催致しました。メンバー自身にとっても、年間を通じて様々な事業を経験することにより、一人ひとりの力は微力ではあるが決して無力ではないことを証明し、そして、地域を愛する気持ちが終結した時には大きな成果が生まれることを実証することができたことは、改めて敬意と感謝の意を表するところであります。

私たちは青年会議所として活動しているからこそ感じるものが沢山あり、だからこそ、それらの諸問題に多く関わっていかなければなりません。私たちには時代を創る責任があります。まずは自分から出来ることを今後も精一杯取り組み、組織として方向性を一致集結すれば今の時代に必ず大きな一石を投じることが出来るものと信じ歩みを進めていただきたいと思います。2017年も益々のご活躍と発展を期待して監事講評とさせていただきます。